

第4回黒部川流域懇談会 議事要旨

開催日時：平成21年2月6日（金）14:00～16:00

場 所：黒部市民会館（2F 会議室）

議事次第： 1. 開 会

2. 挨拶

3. 出席者の紹介

4. 議 事

1) 第3回黒部川流域懇談会指摘事項について

資料-1

2) 河川整備基本方針について

資料-2

3) 河川整備計画（素案）について

資料-2

（1）計画の基本的な考え方

（2）黒部川流域の概要

（3）河川の現状と課題

（4）河川整備の目標に関する事項

（5）河川整備の実施に関する事項

4) 第5回黒部川流域懇談会について

資料-3

5. 質 疑

6. 閉 会

■議 事

1) 第3回黒部川流域懇談会指摘事項について

[主な意見]

(座長)

- ・ 昭和44年8月洪水や近年のゲリラ豪雨時等に関連して、黒部川では危機管理や内水等の関係で問題はないのか。整備計画ではどのように考えるのか。

(事務局)

- ・ ゲリラ豪雨等の危機管理対策については、新設されるXバンドレーダによりリアルタイム情報を把握し、関係機関へ伝達することを考えている。

(委員 A)

- ・ ゲリラ豪雨時には、入善町の国道8号バイパスのアンダーパス25地点で水が溜まって通れなくなったり、車が浸かったりしたことがあるので、地域に降った雨に対して、情報を流す必要があるのではないか。

(座長)

- ・ 地域に降った雨の問題について、国がどのような情報を流すかが重要。また、ゲリラ

豪雨や集中豪雨とわけられて使われている言葉なので、整理しておいた方がよい。

2) 河川整備基本方針について

4) 河川整備計画（素案）について

[主な意見]

【河川整備計画（素案）について】

(座長)

- ・ 異常気象時の洪水や通常起こっている内水への対応について、流域に対しての情報を渡すしくみや、情報の出し方はどのようになっているのか。

(事務局)

- ・ 現状では、雨量観測データの情報を渡すようにはなっていない。低平地での雨量観測は少ない。ただし、内水被害に対する支援は実施している。

(座長)

- ・ 流域に関わる災害対応について、書くべきものは書いていただきたい。

(委員 A)

- ・ 宇奈月ダムは、2市2町での上水道の確保としているが、上水道としては使っていない。この分を2月中旬以降の河川水に放流してもらえないか。

(事務局)

- ・ 4.5 m³/sを維持流量として設定しており、現状は4.17 m³/sである。水が少なくなったとき（水ぎれ）の調査を、県と協議しながら試行的に実施している。

(委員 A)

- ・ 黒部川の広域的かつ合理的な水利用について、北電の発電所がない部分で、非かんがい期に水量確保の必要はないのではないか。この分の水を本川に流すような調整を図れないか。

(事務局)

- ・ 関係機関との調整を図ることを長期的に取り組みたいと考えているが、現時点では明快な返答はできない。

(委員 B)

- ・ 資料にもあるように、農業水路は、かんがい期には水量確保ができていますが、非かんがい期には両岸で20~26 m³/sである。流域すみずみまで必要とする流量をつみあげると35~40 m³/sとなる。農水を減らすのは難しい。35 m³/s以上の水がないとまかなえない。

(座長)

- ・ 正常流量については、全国でも大きな課題であり、河川サイドだけで決められない問題がある。
- ・ 地域、流域が一体となって、どうやって正常流量を満足して行くのか、解決に向けて

検討していく必要がある。

(委員 C)

- ・ 砂を流すのに流量が必要であり、流量を減らすと春先の土砂除去に費用がかかってしまう。

(委員 D)

- ・ アキグミについて記載されているが、要所要所で構わないので、クルミを併記してほしい。
- ・ 資料に記載されている「供給土砂量減少と海岸侵食」について、慎重に書くべきではないか。入善の海岸侵食は、ダムが出来る前に発生している。

(事務局)

- ・ クルミを併記する件は了解した。
- ・ 入善の海岸侵食については、黒部川の流路の固定が原因と考えている。

(委員 E)

- ・ 地下水位変動のグラフについて、今後どのように変動していくと考えているか。

(事務局)

- ・ 地下水解析は難しく、雨の降り方によって変動するものと考えているが、はっきりとした返答はできない。

(委員 A)

- ・ 地域との連携・協働に関して、もう少し子供たちに川で遊び、学ぶことを勉強させる環境づくりをしてほしい。
- ・ 土砂管理について愛本上流だけでなく下流でも玉石採取をしているのを見かけたが、許可しているのか。

(事務局)

- ・ 流下能力不足箇所を若干採取している。

(座長)

- ・ 玉石採取は行わないことは、全国的にそうなっているので、考えるべきである。
- ・ 川の利用についても考慮が必要である。

(委員 C)

- ・ 地震時の対応について書かれているが、黒部川流域に断層があるのか。

(事務局)

- ・ 手持ちに資料がないので、次回返答する。

(座長)

- ・ 愛本堰堤について、流下能力があるから安全だと考えるのではなく、構造物等をしつかり維持管理していかないと一番問題となる箇所であることを認識してほしい。

(委員 C)

- ・ 昭和44年8月洪水時に、愛本堰堤を上流に移し、下流の狭い箇所を拡幅すると聞い

た。その後その場所は自然保護区とのことで拡幅できないと聞いた。どうなっているのか。

(事務局)

- ・ 基本方針では、拡幅することになっている。

(委員 D)

- ・ 愛本地点は拡幅してほしくない。

(座長)

- ・ 愛本堰堤は、ある種の自然なダムとなっているので、黒部川の要となる場所である。拡幅するのは最後の手段としてほしい。

(委員 F)

- ・ 危機管理対策の標識（まるごとまちごとハザードマップ）については、注意して設置してほしい。

(座長)

- ・ 維持管理をしっかりやっていくことが重要である。構造物・河床等をよく見て、維持管理を考えていくこと。

5) 第5回黒部川流域懇談会について

- ・ 異議なし。

— 以 上 —